

新緑のくろんど園地へ (第71回くろわん会 2002/05/07)

眩いような新緑の中を、清々しい風に吹かれて歩いた一日だった。京阪私市駅前の公園に集合したくろわん会のメンバーは、午後から雨の予想にもかかわらず139名だった。多数回参加者の表彰、新参加者の挨拶に続き、担当の新谷世話人からコースの説明があり、佐々山世話人のリードで体ならしの安全体操を行う。

私市の住宅街を離れて、緑の木々の間を行くと「尺治の谷」の入口に着き、ここからは一気に登りになる。途中の谷の橋を渡った山陰に、苔むした「月輪滝」があり、神が宿る谷と云われるだけあり、神秘的な雰囲気漂う。そこから、さらに階段状で苔が生えて滑りやすい岩を注意して登ってゆくと、最後の突堤があり横の階段を上りきると緩やかな林道に出て、まもなく「すいれん池」の広がった景色が飛び込んでくる。

すいれん池の畔には、あずま屋があり、池には黄しょうぶが花を付け始めていた。立派な休憩所とトイレが整備されており、しばらくの休息をとる。「府民の森くろんど園地」のキャンプ場までは緩やかに整備された道が続き、輝くような新緑に囲まれた園地の中をゆったりとした気分で歩く。

昼食場所に予定していたくろんど園地キャンプ場の手前で、懸念していた雨が降り出した。キャンプ場は2ヶ所に分かれており、炊事場所や管理事務所

午後から雨の予想にもかかわらず
百三十九名が集合した私市駅前



私市の住宅街を離れて、
緑の木々の間を行く



神が宿る神聖な谷とされる尺治の谷の急な坂道を上る



谷を渡る橋から少し入ると、苔むした岩陰に月輪滝がある

滝から更に階段状で苔が生えて滑りやすい岩を注意して登ってゆく





最後の突堤の階段を上がりきると、整備されたくろんど園地の遊歩道に出る

など良く整備されており、雨をしのぐことも出来る。かまどの上に腰掛けたり、それぞれ苦労しながら雨をしのいだが、雨は本格的にはならずすぐにあがった。

昼食後は、園地の二つのゲートを越えて、蓮華寺の横を通り、風情のある棚田の平坦な傍示の道を下る。雨が降って下が滑りやすくなっているため、予定していた古代からの大和への抜け道である「かいがけの道」を避け、林間を緩やかに下る「傍示の道」を下ってゆくと、やがて私市、森集落の氏神で住吉神を祀る天田神社に着いた。

京阪河内森駅は、ここからすぐの所だが、周りに広場がないため今日の行程はここで解散となった。

幸いにも、午後は雨にも降られず、十分に森林浴の出来た一日であった。

富田朝己記



明るく開けたくろんど園地のすいれん池に到着



すいれん池には東屋があり、黄しよぶが咲き始めていた

すいれん池の横には立派な休憩所や手洗い所が整備されている



池のあちこちにアヤメ科の黄しよぶの花が咲き始めていた

第一キャンプ場の炊飯場で雨をしのぎながら昼食、近くには管理棟などあり整備された施設だ





整備された第一キャンプ場のベンチやテント用の床で昼食



苔むした木の根に寄生しているかのような山ツツジが可憐な花を咲かせていた



園内はかえでの新緑などが輝くようにまぶしい



園内には二ヶ所の車両進入禁止のための車止めゲートがある



蓮華寺の横を過ぎるとのどかな風情の棚田が広がる



雨が降って下がりやすいため、予定していた「かいかげの道」を避け「傍示の道」を下る



深い木立の中を緩やかに下る傍示の道



私市、森集落の氏神で住吉神を祀る天田神社に着いた



＜行程＞

京阪私市駅⇒尺治谷⇒月輪滝⇒すいれん池⇒くろんど園地⇒八ッ橋⇒傍示の道⇒天田神社⇒京阪河内森駅 約 8km 2002年05月07日 139名参加